

事務事業評価事業一覧表(令和5年度決算)

一般会計

事務事業番号	款	項	目	担当部署	事業の評価	ページ
			事業名			
	消防費	消防費	常備消防費			
09010101			救急救命士等研修訓練事業	消防本部総務課	A	361
09010102			緊急消防援助隊合同訓練事業	消防本部総務課	A	362
	消防費	消防費	非常備消防費			
09010201			消防団活性化事業	消防本部総務課	A	363
	消防費	消防費	消防施設費			
09010301			消防施設・装備等整備事業	消防本部総務課	A	364
09010302			消防車両整備事業	消防本部総務課	A	365
09010303			救急車両整備事業	消防本部総務課	A	366
09010304			消防庁舎ゼロカーボン事業	消防本部総務課	A	367

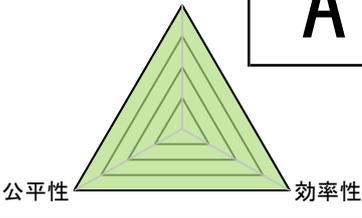
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010101

事業名		救急救命士等研修訓練事業		担当部署	消防本部 総務課			
根拠法令		消防法						
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 A		
	予算・決算額(A)	5,323	4,674	5,252				
	(A)の内訳							
	国道支出金							
	地方債							
	その他	70	41					
	一般財源	5,253	4,633	5,252				
人件費(B)	7,151	7,151	7,151					
事業費計(A+B)	12,474	11,825	12,403					
事業の目的	救急救命士・大型自動車・大型特殊自動車運転資格者を養成し、円滑に隊・車両の運用を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標 	資格取得及び研修等により職務能力の向上を図りました。 ・救急救命士養成 ・大型自動車運転資格者養成 ・大型特殊自動車運転資格者養成							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
	救急救命士養成		人	1	1	1		
	大型自動車運転資格者養成		人	5	5	5		
	大型特殊自動車運転資格者養成		人	1	1	1		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						消防活動等に必要な資格者を養成し、強固な消防体制の運用を図っているため、「4」としました。
	効率性	●						他の職員へも知識、技術を伝承することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため、「4」としました。
公平性	●				計画的な資格者の養成により市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	免許、資格を有する職員は、市民の安心・安全には欠かすことができず、今後も養成を継続したいと考えています。					事業終了の 予定の有無 無		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010102

事業名		緊急消防援助隊合同訓練事業		担当部署	消防本部 総務課				
根拠法令		消防法							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	1,234	1,128	2,971			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,234	1,128				2,971	
	人件費(B)	7,151	7,151	7,151					
事業費計(A+B)	8,385	8,279	10,122						
事業の目的	緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練（岩手県）</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度		
	緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練			回	1	1	1		
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							技術の向上及び連携活動能力の向上を図ることで、消防体制が強化され、水災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られているため、「4」としました。
	効率性	●							部内で知識、技術の伝承をすることで、質の高い隊・車両の編成、運用を行っているため、「4」としました。
公平性	●				北海道、東北及び新潟を含めた8道県で年度ごとに持ち回りで実施し、大規模・特殊災害に、迅速かつ確な対応が出来るよう実施しているため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	道内において日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震が想定されています。大地震を起因とする市街地火災、石油コンビナート火災、土砂災害、津波浸水等の複合的な災害から市民の安心・安全を守るために、計画的に訓練へ参加し、技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 02非常備消防費

事務事業番号 09010201

事業名		消防団活性化事業		担当部署	消防本部 総務課				
根拠法令		消防法							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	4,071	3,668	3,322				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	4,071	3,668					3,322
	人件費(B)	2,145	2,145	2,145					
事業費計(A+B)	6,216	5,813	5,467						
事業の目的	地域防災力の向上のため、消防団員確保に向けた取組を進めるとともに、消防団活動の充実強化を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標	 <ol style="list-style-type: none"> 1 地域防災力の向上のため、大規模災害を想定した訓練に参加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多数傷病者事故対応訓練 ・ 苫小牧市総合防災訓練 2 消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実に寄与することを目的とした訓練を苫小牧市で開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 苫小牧市消防訓練大会 3 各種イベントに参加し、消防団への入団を促進しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第40回とまこまいマラソン大会 ・ 2023たるまえサンフェスティバル ・ 備えるフェスタinとまこまい 								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	多数傷病者事故対応訓練		回	1	1	不参加			
	苫小牧市総合防災訓練		回	1	-	不参加			
	苫小牧市消防訓練大会		回	1	-	-			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							入団促進により、若者の団員数が増加しているため、「4」としました。
	効率性	●							消防団員の人件費が事業費の大半を占めており、必要最低限の経費で事業を実施しているため、「4」としました。
公平性	●				多数傷病者事故は市内全域で発生の可能性があり、有事の際の迅速な対応につながるため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	他機関との合同訓練を実施することにより、消防技術の向上と士気の高揚を図ることができました。今後も消防団への入団促進を図りながら、地域防災力の向上と平均年齢引下げにつながる取組を実施したいと考えています。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

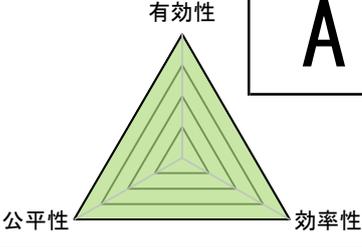
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010301

事業名		消防施設・装備等整備事業		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		消防法					
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 A	
	予算・決算額(A)		94,496	94,044			114,437
	(A)の内訳	国道支出金	80,000	80,000			93,300
		地方債					
		その他					
		一般財源	14,496	14,044			21,137
	人件費(B)		10,727	10,727			10,727
	事業費計(A+B)		105,223	104,771			125,164
事業の目的		災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した資器材等を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標 		各種計画に基づき老朽化した施設、設備、資器材、消防水利等の整備を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策用備蓄資器材の購入 ・沼ノ端出張所地下タンクライニング ・防火水槽の新設 ・防災倉庫の新築 ・高度救命処置シミュレーターの更新 ・消防用ホースの購入 ・高度救命処置用資器材の更新 ・消火栓の新設 					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		防火水槽の新設		基	1	1	1
		消防用ホースの購入		本	110	114	130
		消火栓の新設		基	6	6	6
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				消防活動等に必要な施設・装備等を更新し、強固な消防体制の運用を図っているため、「4」としました。	
効率性		●				最新の施設・装備等を導入することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため、「4」としました。	
公平性		●				計画的な施設・装備等の更新により、市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		老朽化した施設・装備等の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高いと考えています。今後も各種計画に基づき施設・装備等を更新し、消防体制の維持、強化を図りたいと考えています。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項							

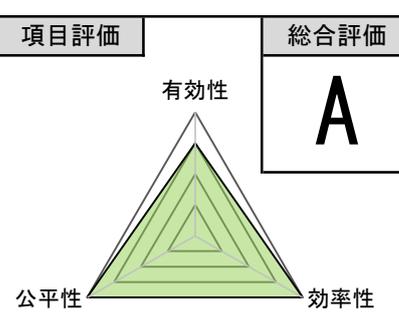
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010302

事業名		消防車両整備事業		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		消防法					
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 A	
	予算・決算額(A)		54,203	54,154			30,478
	(A)の内訳	国道支出金	49,800	49,800			26,300
		地方債					
		その他					
		一般財源	4,403	4,354			4,178
	人件費(B)		7,151	7,151			7,151
	事業費計(A+B)		61,354	61,305			37,629
事業の目的		災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した車両を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>導入から15年以上が経過し、老朽化の著しい車両を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日新出張所に配備している査察車両（平成17年式）の更新 ・消防本部・消防署に配備している空気充填車（平成17年式）の更新 ・消防本部・消防署に配備している指揮車（平成19年式）の更新 ・消防本部・消防署に配備している指揮支援車（平成17年式）の更新 ・未広出張所に配備している消防団車両（平成元年式）の更新 					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		査察車両の更新		台	1	1	0
		指揮支援車の更新		台	1	0	0
		消防団車両の更新		台	1	0	1
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性			●			大型車両のシャシ製造が不透明な状況でしたが、別の老朽化した車両を更新することで、消防体制が維持され、火災危険の抑制や災害発生時の被害の軽減が図られているため、「3」としました。	
効率性		●				車両を更新することにより、車両運用の効率を図ることができているため、「4」としました。	
公平性		●				計画的な車両の更新により、市民の安心・安全を確保することができるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		老朽化した車両の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、費用に見合った効果を得ていると考えています。大型車両のシャシ製造も再開されたため、今後も計画的に更新を図りたいと考えています。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項							

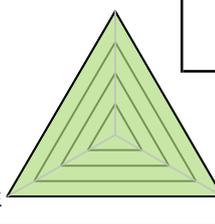
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010303

事業名		救急車両整備事業		担当部署	消防本部 総務課			
根拠法令		消防法						
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	15,283	15,272	-			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳							
	国道支出金	13,800	13,800					
	地方債							
	その他							
	一般財源	1,483	1,472					
人件費(B)	7,151	7,151	-					
事業費計(A+B)	22,434	22,423	-					
事業の目的	災害時等における救急活動の充実強化を図るため、老朽化した資器材を更新し、救急体制の維持、強化を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>計画に基づき高規格救急車内の資器材を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度救命処置用資器材の更新 							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
	高度救命処置用資器材の更新		式	1	1	0		
項目評価	高 → 低		評価の理由					
	4	3	2	1				
	有効性	●				老朽化した資器材の更新を図ることにより、救急体制が維持され、市民の安心・安全が図られているため、「4」としました。		
	効率性	●				最新の資器材を導入することにより、効率的な救急活動を行うことができるため、「4」としました。		
公平性	●				計画的な資器材の更新により、市民の安心・安全を確保することができるため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	老朽化した資器材の更新を図ることで、救急体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができており、費用に見合った効果を得ていると考えています。最新の資器材を導入しながら、今後も計画的に更新を図りたいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
						有 (令和5年度)		
特記事項	救急車両更新時のみの事業となります。令和6年度は更新予定がありません。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010304

事業名		消防庁舎ゼロカーボン事業		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		苫小牧市環境基本条例及び地球温暖化対策の推進に関する法律					
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 有効性 公平性 効率性	総合評価 A	
	予算・決算額(A)	17,380	17,380	-			
	(A)の内訳	国道支出金	4,565	4,565			
		地方債	11,500				
		その他					
	一般財源	1,315	12,815				
	人件費(B)	7,151	7,151	-			
事業費計(A+B)	24,531	24,531	-				
事業の目的	エコオフィスプランに基づき温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量の削減を図ります。						
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>LED化されていない庁舎の照明器具を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼ノ端出張所 ・末広出張所 ・新富出張所 ・錦岡出張所 						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
	照明器具の更新		棟	4	-	-	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
	有効性	●			LED化により、二酸化炭素の排出の削減に効果があるため、「4」としました。		
	効率性	●			エネルギー効率の高い照明器具へ更新により、将来にわたってその効果が得られるため、「4」としました。		
公平性	●			本市が目指す2050年ゼロカーボンシティの実現に寄与するものであり、市民全員に有益なため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	単年度の事業実施ですが、エネルギー効率の高い照明器具へ更新により、継続的に二酸化炭素排出量の削減が見込まれています。今後も2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、関係部局と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無 有 (令和5年度)	
特記事項							